

No.2

2011.6.9

すべての人に喜びの歌を

# 第九たいばす

通刊941号

担当 M

ホームページ: [www.takasaki9.com](http://www.takasaki9.com) メールアドレス: [takasaki9@myad.jp](mailto:takasaki9@myad.jp)

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長中村)

平成23年度の発声式も無事に迎えることができました。

今年は2名の新しい指導者の先生が加わり、

暮れの演奏会に向けて練習がスタートしました。



## ◆ 発声式 副団長・指揮者 赤羽洋子

私にとって29回目の発声式を迎えました。最初は軽い気持ちでこの世界に足を踏み入れ、それが Beethoven の魅力に引かれ、第九の魅力に引かれ、何よりも団員の皆様のエネルギーと人間性に引かれ、29年間歌い続けられたのだと思います。第九活動は私の人生の原点、音楽の源かもしれません。第九と係わっていなかったら何の魅力に惹かれて生きていたのか想像もつきません。そんな訳でもう暫く第九の虜でいようと考えています。



5月22日チャリティーコンサート本当にお疲れ様でした。出演者全員の被災地への熱い思いと団結力を感じたコンサートでした。途中大震災で先行きの見えない時期もありましたが、たった18回の練習で立派なステージを努めて下さった皆様に改めて敬意を表します。停電の心配をしつつ寒い冬を通しての練習で、サボりたい気持ち、面倒くさい気持ち、物臭い気持ち、それを全て克服して皆様が得た感動は人生の大きな1ページになった事でしょう。私はこの公演に参加して下さった皆様に感謝の気持ちと、心よりの拍手を贈ります。私自身第九とは又一味違った感動と充実感を味わっています。これは努力した人のみが得られる感動です。感動を有難う御座いました。

12月の第九に向けて指導者の立場から一言、「万難を排して練習に参加して下さい」

自分は歌えるから、本番だけと言うのでは団員ではありません。欠席が多いと全体のバランスが把握できないので、まとめ難くなります。まじめに努力している人こそ高崎第九合唱団の大きな財産です。その努力を忘れずに暮の第九に心よりの「歓喜の歌」を歌いましょう。

## ◆ 2011年度団員登録と出席簿について

2011年度の出席簿については例年通り7月より配置します。そのため、6月中には団員登録を済ませていただきますようお願いいたします！現在登録団員数は57名です。まずは100名をめざし、お休み中の団員さんや歌ってみたいという方が身近にいらっしゃったら、是非お誘いしてください。7月になり、出席簿が出来ましたら必ず(出)印を自分の欄に押印してください。忘れてしまいますと欠席扱いになります！皆勤の方は皆勤賞がもらえます。休まず練習に参加してください♪

## ◆ 新人団員のみなさんへ

練習時間はpm6:45から発音練習、発声練習、パート練習、連絡事項・休憩時間、全体練習という時間割で進められて行きます。第九を歌うには発音練習、発声練習は大事です、なるべく時間通りに来られるようにがんばってください♪練習の補足教材としてパート練習用のCDとテープがありますので、ご活用ください。CD・テープ:1900円

誰もとはじめての年はありません、「ついてゆけない・・・」とは思わずに一緒にがんばりましょう♪わからないことがありましたら、お近くの役員・団員さんに声をかけてくださいね。

## ◆ メイコンサートDVDの販売 1枚300円

テナー外処さんが固定カメラで撮影した『メイコンサートDVD』を300円で販売していただきます。本日、見本版を再生してますので参考になさっていただき、ご希望の方は外処さんまでお申し込みください。

## ◆メイコンサート写真の注文

井田写真館さんがメイコンサートの写真を撮影してくださいました。注文表に記入していただき、ファイルの中に入れてください。料金は写真と引き換えになります。

## ◆メイコンサートの義援金について

メイコンサートのチケット売上金及び会場での募金は、「1,195,709円」となりました。その後募金が増加され、「1,200,000円」になり、6月8日(水)に渡辺団長と赤羽副団長が上毛新聞社へ持ち込みました。〈上毛新聞社の募金は、6月30日で終了します。〉

## ◆今後の練習について

6月中はカトリック高崎教会で練習を行います。駐車場は、教会本館前以外に駐車してください。7、8月は主に高崎市中央公民館で練習を行います、使用する部屋は日によって異なりますので、建物の入り口の看板を見てください。駐車場は、第一・第二・本町臨時Pです。

7月14日(木)練習終了後、新人さん歓迎会(飲食なし)8時半ごろ練習は終了します。

8月21日(日)サマーレッスン中央公民館にて10時~16時

納涼祭「Kitchen & Bar AIAI(アイアイ)」にてサマーレッスン終了後

11月12、13日(土・日)合宿 武蔵野音大軽井沢研修所にて

## ◆イベント情報

### 7月2日(土)ガーベラコンサート チケットはユリヤまで

群馬県公社総合ビルホール 開場 13:30、開演 14:00 ピアノ:ユリヤ・レヴ 2,000円

ソプラノ:北原正恵、ピアノ:伊藤正・中村陽子、フルート:杉山友美、チェロ:レオニード・グルチン

### 7月9日(土)第13回でかんしょファミリーコンサート~東日本大震災復興支援チャリティコンサート~

高崎市文化会館 開場 13:30、開演 14:00 指揮:長島好江 ピアノ:中村賀永子 1,000円

渡辺団長はじめ当団の団員さんもたくさん出演されます、チケットは団員さんよりお求めください。

## ◆インドふたり旅

(インド旅行に行きさらにパワーアップした)赤羽洋子

友人Y子と真夏のインドに初上陸しました。私の目的はタージマハール、彼女はガンジス川で沐浴風景を見る事。最初に大きな誤算がありました。真夏は7月8月だと勝手に考えて夏を避けたのにインドの夏は5月6月!最高気温45度の世界に足を踏み入れてしまいました。以前エジプトにピラミッドを見に行った時も45度位の暑さでしたが、日陰の無い砂漠に比べインドは緑も日陰も有ったので助かりました。今回は一寸贅沢をして6日間専用の観光タクシーとインド人ガイドと5つ星ホテルを予約しておいたので、優雅にタクシーで回れ、暑いインドに居るのに別世界のお姫様になったような気分でした。

ニューデリーのインデラガンジー空港から待ち合わせていたガイドさんを伴いバラナシに飛びました。国内線、日本人乗客は私たち2人だけの少し心細いインドです。空港から市内に向かって走ると、信号は無く車道、歩道の区別も右側通行か左側通行かも分からないままに道はごった返し、昔のオート三輪車には10人もの人が乗り合い、人、牛、馬、らくだ、猿、犬、豚、孔雀、勝手に主張して騒音とホコリと共に動き回っています。車はけたたましいクラクションを鳴らし続け、人はわめきあっています。2000を越すカースト制で身分を決められた人々、さらには2000にも入れないで人間として扱われない人々。義務教育も昨年やっと始まったとか。神の乗り物として崇められている牛は、野良牛(野良犬ではないんですよ)となり、大きな顔で人間の間を動き回ります。私はこの生きるためになりふり構わず主張する人々、それこそが生活そのもので、真剣に必死に生きている姿に感動して胸が熱くなりました。黙って列に並んでいる美しい日本文化とは違い喚きたてなければ、人より前に行けない生活文化が、ここでは生活そのものとして存在していました。人類の歴史が始まって、そのまま時間が止まってしまい殆ど流れないままに、営みを続けて来た人!その中には義足も買えず、動物の糞の上を、焼けている地面をいざっている老人もいてその姿に涙が出てしまいました。(来週へ続く)

※インドの人口(12.1億人)は、数年で中国(13億)を抜き、世界一になります。資源と人材が豊富で、日米中東の資本投下も大きく、自動車・IT産業で世界トップクラスになる見込み。貧富の差が大きいのが問題です。明